

平成 29 年度第 4 回東名古屋医師会地域包括ケア検討委員会 議事録

平成 29 年 12 月 11 日(月)

午後 2 時～

於：東名古屋医師会事務所会議室

出席者(順不同・敬称略)

委員長：笹本 基秀 (東名古屋医師会 会長)

副委員長：牧 靖典 (東名古屋医師会 副会長)

委員：水野 正明 (名古屋大学 総長補佐 教授)(欠席)

村居 巖 (愛知医科大学 医療相談部)

都築 晃 (藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター)

池田 寛 (藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター)

青山 淳一 (愛豊歯科医師会 会長代理)

西村 成弘 (瀬戸歯科医師会 長久手歯科医会 代表代理)

平井 佳彦 (瀬戸旭長久手薬剤師会 副会長)

森 道成 (日進東郷豊明薬剤師会 会長)

川本 賀津三 (日進市地域福祉課 課長)

柏木 晶 (日進市地域福祉課 主幹)

横山 英治 (日進市東部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)

加藤 知恵美 (日進市中部地域包括支援センター 保健師)

齋藤 寛子 (日進市西部地域包括支援センター 主任ケアマネジャー)

中野 智夫 (長久手市福祉部長寿課 福祉部次長)

井上 隆雄 (長久手市福祉部長寿課 課長補佐)

柴原 里織 (長久手市 愛知たいようの杜地域包括支援センター・センター長)

深谷 美砂子 (長久手市 社会福祉協議会 地域包括支援センター 保健師)

小川 正寿 (豊明市高齢者福祉課 課長)

松本 小牧 (豊明市高齢者福祉課 課長補佐)

田中 貴教 (豊明市南部地域包括支援センター 社会福祉士)(欠席)

眞野 潤 (豊明市中部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)

高桑 民世 (豊明市北部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)

近藤 克也 (東郷町長寿介護課 課長)

杉本 めぐみ (東郷町長寿介護課 介護保険係長)

土井 肇 (東郷町地域包括支援センター センター長)

松井 陽典（愛知県瀬戸保健所 総務企画課 主査）
石黒 孝康（瀬戸旭医師会 在宅医療中核センター コーディネーター）
永井 修一郎（東名古屋医師会）
祖父江 良（東名古屋医師会 副会長）（欠席）
金山 和宏（東名古屋医師会）
松浦 誠司（東名古屋医師会）（欠席）
田貫 浩之（東名古屋医師会）
井手 宏（東名古屋医師会）
木下 雅盟（東名古屋医師会）
嘉戸 竜一（東名古屋医師会）
村井 良則（東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター コンダクター）

(1) 委員長挨拶

- 皆さんもご承知のように平成 27 年から 3 年間の時限事業ということで、地域医療介護総合確保基金を利用した地域包括ケアシステムの構築に向けて、我々は頑張ってきたわけであります。当医師会では在宅医療サポーターセンター事業を在宅医療の充実～適正化を図る目的で進めてまいりました。平成 30 年度からは全ての市町村で介護保険法に基づいた在宅医療介護連携推進事業を実施することになっています。まさにこれから正念場を迎える所であります。
- 平成 30 年は診療報酬改定がありまして、今回は医療介護同時改定となっています。また地域医療構想ということで第 7 次医療計画も平成 30 年から始まります。ですから二次医療圏（尾張東部医療圏）において保健所が中心となって様々な会議を行い、整合性を図って一体的な医療介護提供体制の構築を目指していかなければなりません。
- この地域では市町村が行う事業として在宅医療介護連携支援センターを立ち上げていく中で、豊明市と東郷町の地区では保健衛生大学と共同で支援センター「かけはし」を設立して、もう稼働しております。また日進市や長久手市においては、当医師会への委託の方向で内容を詰めて話し合いを行ってい

る所です。これからもこの地域における地域包括ケアシステムが実際に稼働して、しっかり頑張っている～良くやっていると言われるように、本委員会等で事業を進めていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願い致します。

(2) 豊明市「いきいき笑顔ネットワーク」の現状について（A委員）

＜資料：電子連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・導入実績：登録機関 165 機関、登録患者数 621 人、記事の累積 12131 件で順調に運用中。
- ・順調に推移。

(3) 長久手市「愛・ながくて夢ネット」の現状について（B委員）

＜資料：電子連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・導入実績：登録機関 126 機関、登録患者数 402 人、記事の累積 17748 件で順調に運用中、大きな変化はない。

(4) 日進市「健やかにつしん・ヘルピーネット」の現状について（C委員）

＜資料：電子連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・導入実績：登録機関 103 機関、登録患者数 59 人、記事の累積 766 件。
- ・登録機関で特に歯科医師会のご協力により増加しております。
- ・登録患者数の伸びが鈍っているので、効果的な利用方法について継続的に検討していきたい。

(5) 東郷町「レガッタネット とうごう」の現状について（D委員）

＜資料：電子連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・導入実績：登録機関 62 機関、登録患者数 28 人、記事の累積 861 件、横バイ～微増で運用中。
- ・大きな動きはないが、新規事業所にも案内をして関与して頂けるようお願いをしている。

(6) 各市町の 29 年度在宅医療介護連携推進事業計画と進捗について

(各市町委員)

＜資料：地域包括ケア（在宅医療・介護連携推進事業等）推進組織一覧＞

＜資料：管内市町における在宅医療・介護連携推進事業等の進捗と展望＞

～豊明市～

[推進組織一覧]

- ・地域包括ケア連絡協議会は平成 29 年より第 2 期となり委員の改選と部会をまた新たに立ち上げました。前回資料と大きな変わりはありません。全体会を一回、調査研究委員会を一回実施して、今年度中にもう一回ずつ開催する予定。

[進捗と展望]

◆地域包括ケア連絡協議会

- ・代表者会～調査研究委員会(8/23)の開催。

◆医療介護サポートセンター「かけはし」の運営

- ・運営委員会(8/81、11/14)、事務局会議(9/19)、実務担当者会議(11/16)の開催。

◆多職種人材育成研修事業（継続）：今年度から東郷町との共同開催

- ・研修会 2 回、同職種会 2 回を予定、実施時期は後半期。
- ・職能団体支援（4 団体（PT、Ns、Cm、SW）の運営支援、研修補助）。

◆多職種合同ケアカンファレンス（地域ケア会議）

- ・月 2 回（包括版第 3 水曜日、居宅版第 4 木曜日）。
- ・参加者：高齢者福祉課、地域包括支援センター、医師、薬剤師、歯科医師、理学療法士、保健師、看護師、介護支援専門員等。

◆認知症初期集中支援チーム：順調に運用

- ・市・地域包括支援センター・藤田こころケアセンターとの共同設置。
- ・月 1 回チーム員会議（第 3 火曜日）。

◆在宅医療・救急医療連携セミナー（厚労省医政局）(10/22)

- ・全国の 16 自治体を選定、自治体と在宅医療担当者と消防の 3 者合同で研修会に参加することを条件に募集。
- ・エントリーして選定されたので、3 者（市、藤田保健衛生大学、消防）で参加。
- ・人生最終段階での医療の提供の仕方について、本人や家族の意志をどのよう

に在宅医療や救急に反映していくか等が主な論点。これを地域の中で如何にしてルールを作っていくかということを求めている。

- ・3者（市、藤田保健衛生大学、消防）が持っている情報の共有から話し合いを始めたところ。

（委員長）

- ・多職種合同ケアカンファレンスでは主にどのようなことが問題～議題になっていますか。

（A委員）

- ・多職種合同ケアカンファレンスは、1時間半で居宅版は3ケース～1事例20分で症例検討しているものです。ケース検討にあたりケアマネジャーには困難事例ではなくて、「どうやったら重症化を予防できるか」というような多職種で意見が出やすい事例を選定しています。問題を解決するというよりは、一つの事例を元に検討していくという趣旨です。非常に多方面からの指摘～意見を頂いており、そういったところの視点がケアマネジャーに大きな学びになっています。

～長久手市～

[推進組織一覧]

- ・平成29年4月から医療・介護・福祉ネットワーク運営協議会の下に5部会と特別部会を設けて、各部会の運営をして行くということで進めています。
- ・ICT部会と特別部会は現在活動していないが、それ以外の4部会については各々テーマを決めて進行中。

[進捗]

◆医療・介護・福祉ネットワーク運営協議会

- ・次回（12/19）に開催予定。認知症初期集中支援チームと在宅医療・介護連携支援センターを議題として検討予定。

◆研修部会

- ・（6/22、7/12、8/10、9/12、11/7）部会を開催。
- ・（7/18）研修（専門職向け）：愛・ながくて夢ネットの操作について、愛・な

がくて夢ネットの活用事例の報告

- ・ (9/2、9/9、9/16、9/23) 愛知医科大学公開講座 (市民向け研修)
- ・ (10/26) 研修 (専門職向け) : 嚥下の仕組みと評価

◆事例検討部会

- ・ (5/25、7/7) 部会準備会を開催。(9/20) 部会を開催、以降月 1 回 (第 3 水曜) に開催予定。

◆入退院調整部会

- ・ (4/18) 長久手市入院時情報提供シートについて、(7/11) 愛知医科大学病院入退院支援センターについて～入退院時の診療報酬加算について、(10/12) 退院時の連携について
- ・ 回復期の病院が市内には少ないので、市外の病院の MSW の方にも参加いただいています。

◆愛・ながくて夢ネット交流会

- ・ 各専門職が顔の見える関係づくりを作ることとして交流会の企画・運営を行う。
- ・ (8/16、9/12、11/14) 部会開催、(10/11) 交流会開催～参加者 71 名、
- ・ (1/14) 次回開催予定。

[展望 (センター構想等)]

◆在宅医療・介護連携支援センター

- ・ 医師会と意見交換会を実施 (5/9、6/27、9/12)、連携支援センターの業務内容等について、医師会と協議。

⇒東名古屋医師会への事業委託の方向で検討中。

◆認知症初期集中支援チーム

- ・ 愛知医科大学に委託する方向で検討中。

～日進市～

[推進組織一覧]

- ・ 前回の報告から組織に変更なし。
- ・ 詳細は資料を参照ください。

[進捗]

◆地域包括ケア検討会議

- ・第1回7月24日、第2回9月25日、第3回11月27日、第4回3月中旬（予定）、第7期介護保険事業計画の策定年度のため例年より回数を増やして開催。
- ・総合事業、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策推進事業等について検討。

◆在宅医療・介護連携に関する検討部会

- ・第1回7月3日、第2回1月～3月（予定）開催。
- ・在宅医療・介護連携支援センター設置、認知症初期集中支援チーム配置、医療介護の連携事業の今後の展開等について検討。

◆生活支援体制整備に関する検討部会

- ・第1回6月19日、第2回2月～3月（予定）開催。
- ・総合事業、介護予防、生活支援、認知症施策等について検討。

◆医療と介護の多職種連携研修会

- （東名古屋医師会日進支部・愛豊歯科医師会日進支部・日進市薬剤師会）
- ・第1回4月30日、第2回7月30日、第3回12月21日開催。

◆地域出前講座

- （東名古屋医師会日進支部・愛豊歯科医師会日進支部・日進市薬剤師会）
- ・10月14日：東山、もう一か所1～3月開催予定。

◆市民向け理解促進講演会 時期未定

[展望（センター構想等）]

◆在宅医療・介護連携支援センター

- ・医師会との意見交換会を開催（5/22、6/26）、在宅医療・介護連携に関する検討部会～地域包括ケア検討会議において方向性を協議（7/3、7/24）。

⇒東名古屋医師会への事業委託の方向で協議を進める。

[課題～要望等（新総合事業も含む）]

◆在宅医療介護連携推進事業

- ・事業推進に向けた継続的な協議及び必要な支援と協力。
- ・在宅医療・介護連携支援センター設置に向けた支援と協力。

◆認知症初期集中支援チーム

- ・認知症初期集中支援チーム設置に向けた支援と協力。地域包括支援センターへ委託する方向で調整中。

～東郷町～

[推進組織一覧]

- ・ 前回の報告から組織に変更なし。
- ・ 豊明市同職種連絡協議会と連携予定。
- ・ 詳細は資料を参照ください。

[進捗]

◆地域ケア推進会議

- ・ 2 回（10/12、12/11）開催、第 7 期高齢者福祉計画策定に係る検討（重点課題、計画素案）。

◆在宅医療・介護連携推進部会

- ・ （10/31）部会開催、第 7 期高齢者福祉計画にかかる医療と介護の連携について～事業内容の検討～電子@連絡帳や医療と介護の連携に関する周知啓発事業（講演会）について検討。
- ・ 次回（12/25）部会開催予定、講演会の詳細について検討予定。

◆在宅ケアを考える会（多職種連携勉強会）

- ・ 毎月開催（成年後見センターの事業について、高齢者の運転免許更新について）、今後開催日に合わせ多職種カンファレンスを試行実施していく。

◆日進・東郷医療介護連携会議

- ・ 日進市と東郷町の行政、医療機関、地域包括支援センター職員が、医療介護連携について意見交換。（12/15 開催予定）

◆国保、後期高齢者医療、及び特定健診部門との連携

- ・ 町内連携をすすめる、地域包括ケアシステムの推進のための事業検討など実施していく。

[展望（センター構想等）]

◆認知症初期集中支援チーム

- ・ 平成 30 年 4 月の設置に向けて検討していく。長寿介護課が事務局としてチーム員が集まって、その都度開催していく形で進めていこうと検討中。

◆多職種連携事業（仮称）

- ・ 医療と介護の連携、地域ケアマネジメント推進のため多職種カンファレンスの会を設置していく。

(委員長)

- ・同職種連絡協議会についての東郷町と豊明市の連携は、具体的にはどのようなになるのですか。

(D委員)

- ・豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」との関係から、豊明市の同職種連絡協議会の4職種（ケアマネ、訪問看護、リハビリ、ソーシャルワーカー）について連携したらどうかというお話から検討しております。リハビリとケアマネに関しては東郷のみでも組織できそうであるとの報告を受けています。

(7) 29年度在宅医療サポートセンター事業計画と進捗について

(E委員)

- ＜東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター事業計画（進捗）について＞
- ＜別添、東名古屋医師会管内における在宅医療・介護連携推進事業の展望＞
- ＜別添、在宅医療の提供と連携に関する実態調査(集計結果)

【東名古屋医師会管内分】＞

1. (24時間365日対応可能な在宅医療提供体制の構築を支援)

○医療資源の把握

- ・第3回在宅医療の提供と連携に関する実態調査（県医師会調査）実施。
- ・毎年度実施（9月頃）。
- ・詳細は別添資料を参照。（今回は全医療機関が対象～管内の在宅医療の提供に関しては前回より微増程度～管内の医療機関別年間在宅患者数の統計では医療機関は約7割が強化型在支診）
- ・「在宅医療実施医療機関」、「在宅医療受入れ薬局」、「訪問看護ステーション」各一覧表（詳細版）作成。

○連携推進のための調整会議

- ・地域包括ケア検討委員会開催（原則、偶数月開催）。本日が第4回で、今年度はあと1回開催予定。
- ・在宅療養支援診療所連携委員会開催（概ね4か月ごとに開催）。第1回は前回

報告しました。第2回については1/22(月)に開催予定。

【第2回：検討予定事項】

◆在宅患者の急変時における、主治医と消防・警察との連携（取り決め）の必要性について◆連携医療機関での看取りのケースと、本来のかかりつけ医の看取り件数について◆在宅における管理料の算定要件をクリアするため方策について◆地域包括ケアの今後の方向性について◆電子@連絡帳のサーバー変更の可能性について◆「訪問リハビリ」と「訪問マッサージ」の使い分けについて

○その他（将来展望検討等）

- ・国立長寿医療研究センター、愛知県、管内各自治体、県医師会等が開催する各種会議・研修会に出席。
- ・豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」（7月開所）との連携。
- ・日進市及び長久手市在宅医療・介護連携支援センター（仮称）準備打合せ会等出席。（構成員：日進市又は長久手市職員、医師会支部等、サポートセンター）
- ・東名古屋医師会在宅医療総合研究センター（仮称）構想検討打合せ会開催。（内容：サポートセンターの今後、H30年度以降における当医師会が担う役割・機能等について）
→別添資料参照、プロジェクトチームにおいて組織体制等を検討していく。
- ・在宅医療・救急医療連携セミナー（厚労省医政局）（10/22）傍聴参加。
- ・県医師会在宅医療サポートセンター実務者協議会（11/15）成果報告プレゼン。
- ・医療福祉情報連携コーディネーター養成講座（医療福祉情報連携協議会）（12/9）受講。

2.（在宅医療導入研修を実施）

○認知症初期集中支援チームの効果的運用に関する研修会

（国立長寿医療研究センター委託事業）

（企画・運営：本会在宅医療サポートセンター主催、管内4市町協力）

- ・4市町の認知症施策担当職員と打合せ（9/11、9/26、11/29）

<<資料：「認知症対策地域連携研修会」プログラム>>

日時/12月14日（木）14:00～15:40

場所/日進市中央福祉センター2 階多機能室

対象者/管内各地域の医師、歯科医師、薬剤師、地域包括支援センター職員、自治体職員等～80 名程度～

第 1 部

①豊明市における認知症初期集中支援チームの活動状況報告

②テーマに沿ってグループワーク実施

テーマ/地域で認知症の人が自立して生活できるために、チーム員として自分は何ができるか（自己紹介もかねて）/多職種協働チームの強みを発揮するには、どのようなチーム活動をすればよいか

第 2 部

①基調講演/認知症初期集中支援チームの役割と意義

講師/国立長寿医療研究センター（副院長）鷺見幸彦氏

②グループワーク発表、講評

○介護保険制度に関する研修会

<<介護保険制度に関する研修会>>

日時/未定（2～3 月を予定）

場所/医師会事務所会議室

対象者/会員医療機関の医師～スタッフ他

内容等/今後検討

趣旨/平成 3 0 年 4 月に診療報酬と介護保険の同時改訂が予定されていることから、在宅医療との関わりが深い介護保険制度について、改正内容を含めて理解を深める。

講師/あすわひのきケアプランセンター 代表 下鶴紀之氏

3.（かかりつけ医普及啓発講習会を実施）

○東名古屋医師会市民公開講座（本会事業）

<<別添資料、第 14 回東名古屋医師会市民公開講座>>

日時/平成 30 年 2 月 25 日（日）午後 2 時から

場所/長久手市文化の家（風のホール）

内容/とっておきの長久手、紹介します！！

4.（在宅医療に関する相談窓口を設置）

○広報・PR、相談窓口

- ・サポートセンターホームページ等内容充実（各種委員会議事録、講演会・研修会開催結果等掲載）。

→東名古屋医師会（在宅医療サポートセンター）ホームページを参照ください。

- ・パンフレット印刷、講演会等で配布「ご存知ですか？在宅医療 ～いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～」。

（8）29年度尾張東部中核センター事業計画と進捗について（F委員）

＜＜資料：（案）多職種連携研修会（仮称）プログラム＞＞

目的/病院スタッフが在宅医療の現場について知見を深め、在宅スタッフが病院の機能・退院支援の取り組みを学び、病院、在宅スタッフが行政の医療・介護に対する関わりを知ることで、多職種の相互理解を深めるとともに、連携の円滑化を図ることにより在宅医療を推進する。

開催日時/平成30年3月3日（土）14:00～16:45（予定）

開催場所/長久手市福祉の家（集会室）

参加対象/病院の医師～看護師～医療ソーシャルワーカー～その他の職種、在宅医療に従事する医師～看護師～ケアマネジャー～その他の職種、行政

第一部/①講演-病院スタッフ-（テーマ：病院における退院支援の現状と課題）

②講演-在宅側スタッフ-（テーマ：在宅支援の現状と課題）③講演-行政-（豊明市における医療と介護の連携と行政の関わり）

第二部/パネルディスカッション（テーマ：退院支援、在宅支援のあり方）

＜資料：在宅医療に関する主な診療報酬の算定状況（74歳以下）＞

＜資料：居宅介護支援に対する介護報酬の算定状況（74歳以下）瀬戸市＞

＜資料：①在宅医療に関連する診療報酬算定状況

（年齢区分別算定内訳）瀬戸市＞

＜資料：②-1 在宅医療に関連する診療報酬算定状況

（医療機関所在地別算定内訳 対象：74歳以下の市民）瀬戸市＞

＜資料：②-2 在宅医療に関連する診療報酬算定状況

（医療機関所在地別算定内訳 対象：75歳以上の市民）瀬戸市＞

- ・詳細は資料を参照ください。
- ・データを年齢別に年度毎に分けて集計し、受診した医療機関の住所地別にも検討して整理していきます。
- ・次回の会議の際にお知らせできると思います。

(9) 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」の事業進捗について
(G委員)

<資料：平成 29 年度 豊明東郷医療介護サポートセンター 事業報告書>

- ・前回(10/2)以降を追加しました。
- ・(12/16)に第1回多職種人材育成研修会開催予定、(2/10)に第2回多職種人材育成研修会開催予定。
- ・(1/13)に同職種会合同研修会開催予定。
- ・(10/22)に在宅医療救急医療連携セミナー参加、この研修会は救急搬送場面における情報の共有～advanced care planningのあり方等をどうしていくのかの話し合いの場面となっています。研修会当日、参加した横須賀市の方から発言で、警察の参加も必要ではないかとのことで、厚労省医政局への呼びかけがありました。
- ・(2/4)に第2回在宅医療救急医療連携セミナー参加予定。
- ・(11/3)に第1回「障がい児を持つ家族の集い」開催。

(H委員)

<資料、かけはしキッズ！>

- ・(11/3)の「障がい児を持つ家族の集い」では、ご家族11組～行政関係者～医療関係者～福祉関係者あわせて36名が集まり、意見交換会等が行われました。普段から障がい児の教育～医療～行政の情報を得る手段がほとんど無くて困っているそうです。将来～未来に関して相談する場がないとの意見が多数でした。そのためこのような会を今後も継続して開催してもらい、継続した話し合いや支援が欲しいというのが大勢の意見でした。継続して開催していくのに当たりまして、今後とも皆様方のご協力をお願いいたします。
- ・在宅医療救急医療連携セミナーに関して、現在は豊明市の消防本部と話し合いをしています、次年度以降は尾三消防本部と合同で動くという形になり

ます。そうなるより広域での合意が必要になります。医療側も医師会を含めたより広域での合意形成も必要になります。豊明市のみの取り組みではなくて、ゆくゆくは広域で合意形成していけると良いのではないかなというのが、消防側の意見～お願いとしてありました。

(I 委員)

- ・在宅医療～救急医療連携に関して、消防の方にも ICT～電子@連絡帳に参加して頂いて、ある程度登録された方の情報が開けるような形になってくると良いのかなと思います。如何でしょうか。

(H 委員)

- ・高齢者の場合、救急隊が到着してから家族やケアマネ～通院先～現病歴等の情報を把握するために時間がかかっているのが現状です。現時点ではタブレット等でアクセスして基本情報だけでも取れるシステムを急いでやっつけていこうということになっています。事前の合意形成や望む形というのを取っておくという話になると、情報の更新の問題が出てきて議論が残りますので、まずは一歩ずつ進めていこうと考えております。電子@連絡帳に救急隊の方が使えると思ってもらえる仕組みも必要かと思えます。

(10) その他

<<在宅医療における栄養管理>>

(A 委員)

- ・第7期介護事業計画を作っている中で、多職種の方々に足りない資源についての意見として多数いただいたのが、「在宅における栄養指導のできる人材の確保」でした。これに関してはどこにも頼む先がないのでまだ出来ていません。愛知県栄養士会の尾張東部におられる数人の管理栄養士の方に現状をお伝えして、市と大学と管理栄養士で、在宅でできる管理栄養士の人材育成を一緒に取り組んでいくのはどうかと伺いましたところ、非常に興味があるとの返答を頂きました。潜在的な管理栄養士は地域に多数おられるのですが、在宅が出来るほどに医療面～疾患を理解するには教育が必要です。また教育を受けた後どのように雇用し報酬等を算定していくか等の様々な課題もあり

ます。その辺を整理していきたいと考えております。

(H委員)

- ・具体的には訪問看護師と同行で、訪問看護師が担っている栄養管理指導を見てもらう。それから大学病院の病棟等勤務の管理栄養士に疾患への対応を学んでもらう。まずこの2本を骨子にやっていきながら、トレーニングの期間～マニュアル～教育の質等を検討していきます。

(委員長)

- ・栄養指導に関しては、医療報酬というのをどのように付けたら良いのかが、難しい問題になります。在宅医療をやっている先生が出すのか～請求先がどこになるのか等で困ります。今後はうまくいくようになればと思います。

(副委員長)

- ・先日大学病院の担当の鈴木教授と連携の相談会をして具体的な取り組みを話し合いました。この問題は国～政府との連携が必要なので、現実的な解決策を厚労省へ働きかけていただきたいと考えております。

(I委員)

- ・日進市で歯科医院の70%が電子@連絡帳に登録されていますが、何か特別な取り組みがあったのですか。

(J委員)

- ・特別なことをしたわけではなくて、ひたすらお願いした結果であります。会長が交代したのを機にまた強くお願いした次第です。

次回開催日について（予定）

平成30年2月19日（月）午後2時～